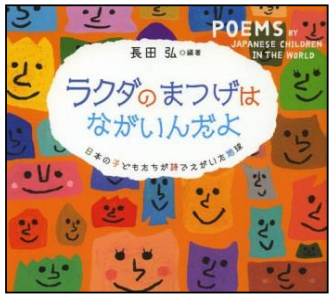


『ラクダのまつげはながいんだよ』 (911.5)
長田弘/編者 講談社



海外に住む日本の子どもたちが詩を書きました。
ドイツにくるのがいやだったこと…。
ラマダンという断食のなぞ…。
折り紙でパラグアイの友達ができた…。

若いことばの力が私たちが世界とつないでくれます。

『小さい“っ”が消えた日』 (Fロ) 三修社
ステファノ・フォン・ロー/文
トルステン・クロケンブリック/絵



音のない小さい“っ”は、ほかの文字たちから「音を出さないから文字でもなんでもなし」と笑われ、悲しくて姿を消してしまいます。
“っ”のいない世界では言葉や文章の意味が変わってしまい…。
沈黙も言葉と同じくらい大切であることを伝える言葉の妖精たちの物語。

利用案内

- ◆大和郡山市に在住・在学・在勤の方は、利用者カードを作ることができます。
- ◆8冊まで、2週間借りられます。
- ◆貸出中の本の予約、所蔵していない本のリクエストができます。
- ◆司書が調べ物のアシストをします。探している本が見つからないときは、お気軽にお尋ねください。

図書館のホームページから本の予約・延長ができます

- ◇パスワードを登録→ 貸出中の本の予約
貸出本の延長(予約が入っている場合は不可)
- ◇メールアドレスを登録→予約本の取置きをメールでお知らせ

【PC】 <https://www.yamatokoriyama-library.jp/>
【携帯】 <https://www.yamatokoriyama-library.jp/toshoi/>



※「libraryyk@yamatokoriyama-library.jp」が受信できるよう受信設定をご確認下さい

【開館時間】

土曜日 9:30～21:00 土曜日以外 9:30～19:00

【休館日】

毎週火曜日、第1・第3水曜日(祝日にあたる場合は翌日休館)
年末年始 特別整理期間

【大和郡山市立図書館】

大和郡山市北郡山町211-3 やまと郡山城ホール内
TEL:0743-55-6600

yandoco

中学校・高校版 第15号 2014.07発行

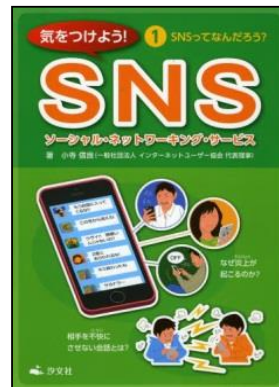
図書館おすすめの本 ()内は、分類です。



『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』 (911.5)

受刑者/詩 寮美千子/編 長崎出版

少年刑務所の中で少年たちが書いた詩集です。うまく書こうなんて思わない素直な言葉で、考えていることや親に対する気持ちが書かれています。
編者の解説から詩の背景、込められた心情が理解できます。

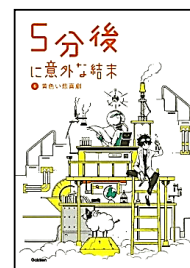


『気をつけよう! SNS』 (54) ①②③
小寺信良/著 汐文社

TwitterやLINEなどの、便利で楽しいSNS。
しかし、使い方によってはとてもシンドイものに…。
SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のこと、正しく知って、楽しく使おう。

『5分後に意外な結末』 (90) ①～⑤
学研教育出版

金持ちそうな男が、銀行に100ドルだけ借りに来たわけとは…?
5歳の息子が、父の給料の額をどうしても知りたいのはなぜ…?
話の数だけ驚きのつまった短編集です。
5分ですっきり、5分でびっくり。
全部で5冊のシリーズです。





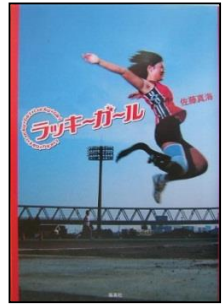
『鹿乃江さんの左手』(Bアオ)
青谷真未/著 ポプラ社

どんな願いごと一つだけ叶えてくれる魔女がいるという女子高。誰もが会えるわけではない魔女に出会えた時、あなたは何を願いますか？その願い事によって引き起こされるミステリー。



『子どもは子どもを生きています』(748)
小西貴士/写真・ことば フレーベル館

子どもは毎日精一杯生きています。こんなにも輝いています。ちょっと昔のことを思い出して下さい。あなたも精一杯生きてきたことを。こんなにも輝いていたことを。



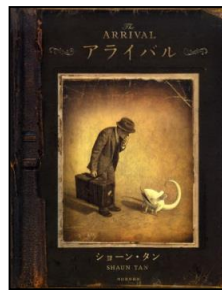
『ラッキー〜ガ〜ル』(782.4)
佐藤真海/著 集英社

オリンピック東京誘致のスピーチで、笑顔が輝いていた佐藤さん。骨肉種の手術の後、自らを世界一のラッキーガールと呼べるようになるまでを追体験してみませんか？君の今の悩みが少し小さく思えるかもしれません。



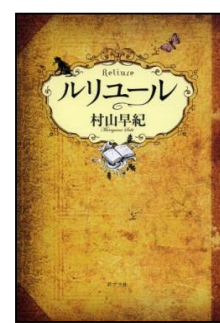
『レントゲン』(カゼ)
風野潮/著 講談社

廉太郎と弦次郎はひとつちがいの同学年のきょうだい。幼いころ習ったバイオリンがきっかけで溝ができてしまうものの、高校の文化祭というゴールを目指して再び交わってゆくふたりの道。関西弁の会話も楽しめます。



『アライバル』(726)
ショーン・タン/著 河出書房新社

新天地を求め、見知らぬ土地に移住した一人の移民(アライバル)と、彼に関わる人々を描いた物語。文字が一切無い、サイレント映画のような、美しく静かな絵本です。



『ルリユール』(ムラ)
村山早紀/著 ポプラ社

「ルリユール」って知っていますか？製本や本の修理をする職人さんのことです。ある夏休み、瑠璃はちょっと不思議なルリユールの女性クラウディアの弟子になるのですが…。本を愛する人たちの心あたたまるお話です。



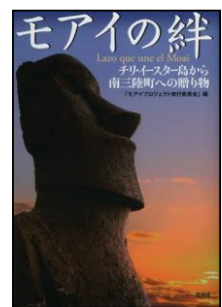
『ウユニ塩湖 世界一の「奇跡」と呼ばれた絶景』(296.7)
TABIPPO/編集 いろは出版

旅人たちが「世界一の奇跡」とよばれるウユニ塩湖。それは日本から16,000km離れた南米ボリビアにある世界最大の塩の湖です。真っ白に広がる塩の大地。雨季になるとその表面に水が溜まり「天空の鏡」と喩えられる景色が現れます。



『さかなクンの水族館ガイド』(480)
さかなクン/著 ブックマン社

みなさんは水族館にいるお魚をどれだけ知っていますか？この本では、水中でいきる生き物の生態を紹介し、どの水族館に行けばその生き物に会えるかを、さかなクンが案内してくれます。水族館に行くときには、ぜひこの本を参考にしてみてください。



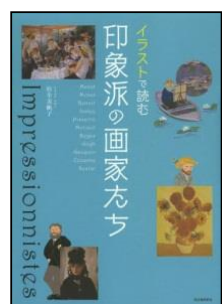
『モアイの絆』(319.1)
モアイプロジェクト実行委員会/編 言視舎

1960年のチリ地震で津波被害を受けた南三陸町とチリ共和国。その30年後、復興と友好の証としてチリから南三陸町へモアイ像が贈られた。そして2011年3月、東日本大震災でそのモアイ像が倒壊。それを知ったイースター島の島民から、新たな復興のシンボルとして、一体のモアイが届けられた。



『おいで、一緒に行こう』(645)
森絵都/著 文藝春秋

残された動物を救うべく、原発20キロ圏内へ向かった女性達。危険だとわかっている…それでも救わずにいられない命。レスキュー活動の様子や、犬の飼い主、里親の姿を追い、その一刻一刻を綴る。



『イラストで読む印象派の画家たち』(723)
杉全美帆子/著 河出書房新社

今では美しい絵のお手本のように思われている印象派の絵画。でも登場した当時は、人々に受け入れられず、バカにされていた?!らしい。印象派の歴史やルノワール、モネなど画家の歩みを楽しいイラストで紹介しています。



『おり手紙』(754)
ショートケーキ&清水あかね/著 飛鳥新社

メールにLINE、誰かにペンで手紙を書く機会は減ってしまいました。気持ちを伝えたいとき、手紙にメッセージを書いて折り紙のように折ってみませんか。ひと工夫の手紙で心も季節もとどくかな。